

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 8月 17日

宮崎市長 殿



提出者

住 所 鹿児島市唐湊1丁目2番1号

氏 名 鹿児島支店長 内丸 観史

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

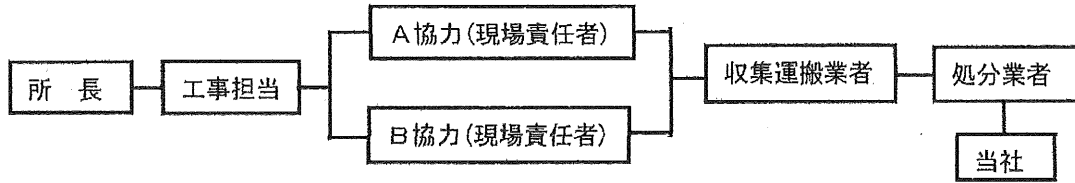
電話番号 099-252-7796

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三軌建設株式会社 鹿児島支店 宮崎工事所
事業場の所在地	宮崎市大島町野田2055-1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	元請完成工事高(前年度実績) 230,000,000円
③従業員数	6名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・金属くず→中間処理委託(破碎)・廃プラスチック類→最終処分(埋立)・コンクリートくず→中間処理(破碎)→再生クラッシュラン・木くず →中間処理(破碎)→再資源化(燃料チップ、敷き料)・紙くず →中間処理(焼却)・混合くず→中間処理(焼却)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】 （下記に記載又は別紙のとおり）			
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	・・・
	排出量	0.90 t	3.12 t	・・・
	(これまでに実施した取組) ・排出抑制の取組として材料使用に無駄のないよう社員に周知し実践した。			
②計画	【目標】 （下記に記載又は別紙のとおり）			
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	・・・
	排出量	0.5 t	2.0 t	・・・
	(今後実施する予定の取組) ・現場への余分な材料の持込みを抑え総量の抑制を2.0 tと目標を設定する。 0			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くず、廃プラスチック類、・・・に分別し、品目毎のコンテナボックスを配置し、収集運搬する際に混同しないよう配慮した。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年同様に分別を行うとともに、分別不良や保管状況が悪いものなど分別が徹底されていない箇所には分別担当者を配置し改善に努める。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和元年度）実績】 （下記に記載又は別紙のとおり）			
	産業廃棄物の種類	金属くず	コンクリートくず	混合くず
	全処理委託量	0.90 t	1,405.23 t	1.67 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.90 t	1,405.23 t	1.67 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t

②計画	【目標】 （下記に記載又は別紙のとおり）			
	産業廃棄物の種類	金属くず	コンクリートくず	混合くず
	全処理委託量	0.50 t	1300 t	1.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.50 t	1300 t	1.1 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・木くず、廃プラスチック類は前年同様再生利用業者へ処理委託する。				
※事務処理欄				

